

平成 21 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社エムジーホーム  
代 表 者 名 代表取締役 阿部洋二  
コード番号 8891  
上場取引所 東京証券取引所 第二部  
名古屋証券取引所 第二部  
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 北川隆徳  
電 話 番 号 052-881-3211

## たな卸資産評価損・減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期第 3 四半期において、たな卸資産評価損及び減損損失を計上し、その結果平成 20 年 11 月 12 日に公表した平成 21 年 3 月期の通期の業績予想を下記のとおり修正致しますのでお知らせします。

### 記

#### 1. たな卸資産評価損

「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴い、保有する販売用不動産の時価が下落している資産につき、たな卸資産評価損を計上いたします。

たな卸資産評価損計上額 525,911 千円

#### 2. 減損損失

「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴い、保有する固定資産の内、時価が下落している資産につき、減損損失を計上いたします。

減損損失計上額 206,555 千円  
(内訳) 土地 120,844 千円  
建物 85,711 千円

#### 3. 平成 21 年 3 月期通期の業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

区分	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	8,400	140	10	△40	△2,238.51 円
今回修正予想 (B)	7,260	△ 760	△ 900	△ 1,180	△66,102.74 円
増減額 (B-A)	△ 1,140	△ 900	△ 910	△ 1,140	—
増減率 (%)	△ 13.6	—	—	—	—
前期実績(平成 20 年 3 月期)	6,757	△107	△251	△285	△15,832.41 円

#### 4. 今回の業績の修正理由

当第 3 四半期におきましては、世界的な金融不安が発端となり景気は後退局面へと突入いたしました。日本国内におきましても円高・株安が進行し、消費者のマンション購入意欲は停滞し、当社を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況で推移しました。

このような環境下におきまして、販売の促進による粗利益の減少や、上記の「棚卸資産の評価に関する会計基準」及び「固定資産の減損に係る会計基準」の適用による損失の計上により、今期の収益は大幅に減少することとなりました。

以上の理由により通期の業績予想を修正いたします。

以上